

東京拘置所主幹システムの更新

- ・総合監視システム及び被収容者行先表示システムの一部を平成24年度更新
- ・保守管理業者から保守継続困難の報告を受けている
- ・整備後10年が経過し、交換部品が欠品
- ・経年劣化により、システム障害が発生

① 総合監視システム

センター装置（切替スイッチ）



・いわゆるスイッチングハブであり、データの受取・送信・管理・あて先制御等を行う機器

入退室管理システム



・施設内の各所へ移動する際に通行錠と併用して生体認証により施錠された扉を開錠するための電気錠を制御し、運用するためのシステム

保護室録画設備



・保護室監視カメラの映像をデータ化し、録画・保存・再生等を行うための設備

② 被収容者行先表示システム

クライアント関連機器



・行先表示システムを運用するため、東京拘置所において利用するパソコン等の端末の総称

制御関連機器



・行先表示操作スイッチと在室表示制御盤間のデータ送信・管理を行うための機器

面会受付機器



・面会受付からのパソコンから面会待合室等の表示モニターに面会状況等の情報を送信する機器

経年劣化により障害が発生し、施設運営に支障を来すおそれがある機器について、拘置業務を継続しつつ、平成24年度に引き続き計画的に更新・整備する。

保安事故防止対策研修の実施

【広島刑務所職員アンケート結果】

- 指揮命令システムが機能していない
- 事故対応マニュアル作成の必要性
- 幹部職員と一般職員とが一体となった受刑者の心情把握
- 捜査時の情報共有

施設警備に直接携わり、かつ指揮を執る中級幹部職員の研さんが必要

◆ 警備体制、事故発生時の対応等に係る研修の実施

概要

- 内容・・・逃走防止に向けた各施設の取組等の発表・討議、逃走事故発生時の想定訓練等
- 対象者・・・刑事施設本所の統括矯正処遇官（警備担当）、少年施設の統括専門官（企画調整担当）等
- 実施場所（期間）・・・矯正研修所支所（3日間）

デジタル携帯無線機の落雷対策・採証用機器等の整備

上記機器を矯正施設に整備することによって、保安警備体制の強化、刑務官の適正な実力行使等の担保を図り、保安事故等を防止